

広島市ハイスクールビジョン (改定素案)

平成28年11月 策定
令和4年3月 一部改定
令和8年 月 改定

広島市教育委員会

目次

I	これまでの取組とハイスクールビジョンの改定について	1
II	高等学校教育を取り巻く現状	2
III	目指す人間像と重点を置く教育	
1	高等学校教育が目指す人間像	4
2	重点を置く教育	
(1)	全ての生徒が共通して身に付けるべき資質・能力の育成	4
(2)	多様な生徒の学習ニーズに応じたきめ細かな対応	5
IV	市立学校としての特色化・魅力化の推進	
1	各学校における教育の方向性	
(1)	全日制課程	6
ア	普通科	
(ア)	基町高等学校	
(イ)	舟入高等学校	
(ウ)	沼田高等学校	
(エ)	美鈴が丘高等学校	
イ	専門学科	
(ア)	広島商業高等学校	
(イ)	広島工業高等学校	
(2)	定時制課程及び通信制課程	8
ア	広島みらい創生高等学校	
(3)	中高一貫教育校	9
ア	広島中等教育学校	
2	今後更なる充実を目指す取組	9
V	将来的な学校体制のあり方の検討	11
VI	本ビジョンの位置付け、計画期間、今後の進め方	12
	《参考資料》	13

I これまでの取組とハイスクールビジョンの改定について

高等学校教育においては、生涯にわたって学習する基盤が培われるよう、義務教育の基礎の上に、主体的に学ぶ習慣と幅広い教養を身に付けさせ、その上で、一人一人の個性の伸長を図りつつ、一定の専門的な知識等を習得させるとともに、社会の発展に寄与する志や責任感を養うことが求められます。

本市の市立高等学校は、大正8年（1919年）に広島市商業補習学校（広島市立大手町商業高等学校（定時制））が設立されて以来、戦後の学制改革、昭和50年代以降の生徒急増に伴う新設等を経て、国際平和文化都市広島が設置する高等学校として、市民のニーズや期待に応え、社会の発展に寄与する有為な人材を輩出してきました¹。

この間、本市教育委員会では、社会の変容に応じた教育の充実に向けた改善を進め、生徒の興味・関心等の多様化を踏まえた、普通科高校への特色あるコースの設置、専門高校の学科改編、中高一貫教育校の設置等、「魅力ある高校づくり」を進めてきましたが、これらの取組の成果と課題を踏まえ、引き続き全日制高等学校の教育改革を推進するため、当面の課題に対応した第Ⅰ期将来構想を策定しました。

その後、改正教育基本法の成立（平成18年（2006年）12月）に伴う関連法規等が整備され、教育の目的や目標等が明確化されたことなどを受け、平成22年（2010年）3月に第Ⅱ期将来構想として、今後の市立高等学校のあり方や新たな学校づくりの基本的な指針となる「「広島市ハイスクールビジョン」～広島市立高等学校（全日制）の将来構想～」を策定しました。

また、定時制高等学校については、「広島市立定時制高等学校将来構想検討委員会最終報告」平成15年（2003年）3月の提言に基づき、平成25年（2013年）年に市立広島工業高等学校における工業技術科への学科改編や2年次からのコース選択制の導入、平成25年（2013年）に市立大手町商業高等学校におけるビジネス創造科への学科改編や昼間部を設置しました。

平成28年（2016年）11月には、市立高等学校全体を対象とした「「広島市ハイスクールビジョン」～広島市立高等学校の将来構想～」（以下、「本ビジョン」という。）を策定し、平成30年（2018年）4月に広島みらい創生高等学校の開校、令和4年（2022年）4月に沼田高等学校体育コースの改編、令和7年（2025年）4月に美鈴が丘高等学校に新しい普通科としてグローバル探究科を設置するなど、これまで推進してきた「魅力ある高校づくり」の一層の充実に取り組んできました。

この度、平成28年（2016年）に策定したビジョンの計画期間（10年間）が終了したことに伴い、あらためて高等学校教育を取り巻く現状を踏まえるとともに、広島市総合教育会議での議論²等も踏まえながら、ビジョンを改定し、今後の市立学校としての特色化・魅力化に向けた取組と将来的な学校体制のあり方の検討について基本的な方向性を示します。

¹ 「広島市立高等学校・中等教育学校の変遷」（14ページ参照）

² 「令和8年度広島市総合教育会議について」（33ページ参照）

Ⅱ 高等学校教育を取り巻く現状

本市教育委員会では、市立高等学校等に対する現状を把握するため、令和7年（2025年）12月に、中学校・高等学校の生徒・保護者等を対象にアンケート調査³を実施しました。

その結果、全日制普通科の高校生及びその保護者からは、「学校行事」や「部活動」、「大学等進学に対応した指導」等について高い満足度が示されており、全日制専門学科の高校生及びその保護者からは、「特色ある専門的な授業」や「就職や資格取得に対応した指導」等について高い満足度が示されています。定時制・通信制の高校生及びその保護者からは、「心の悩みなどを相談できる体制」について、他の学科に比べ高い満足度が示されています。また、市立高等学校等に対する高校生及びその保護者のニーズは、「大学受験に向けた取組の強化」や「多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入」がともに高く、グローバル化や情報化に対応した「語学教育」や「情報教育」についても一定の期待が寄せられています。

このほか、中学生及びその保護者は、「学力が（生徒に）あっている」や「学校の雰囲気が良い」、「自宅から近い・通いやすい」ことを重視して高等学校を選ぶとする回答が高校生及びその保護者と比較して多く、また、「就職に向けた取組の強化」、「2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度」、「国際理解教育」、「語学教育」、「情報教育」等のニーズが高く、それらに重点を置いた指導に期待が寄せられています。

また、令和14年度の入学生から実施予定の新学習指導要領について、中央教育審議会では、情報活用能力の抜本的向上を図る方策や柔軟な教育課程の編成・実施を可能とする仕組み等について議論⁴されています。

さらに、本市では、少子高齢化や労働、生活環境の変化等、様々な社会的要因の変化により、地域活動への参加者減少や担い手不足等の問題が深刻化していることから、持続可能な地域社会の構築に向けた地域コミュニティの活性化が重要となっています。

このほか、本市は、経済面や生活面で深く結びついている34の近隣市町からなる広島広域都市圏^{ひい}では中四国地方の発展をけん引していく中枢都市としての役割を果たすべき立場にあり、本市を中心とした広域都市圏において、産業や医療・福祉、まちづくりなどの分野で地域社会に根ざし郷土の発展に貢献できる人材の育成が求められています。

一方で、これから少子化の影響が本格的に高等学校教育の場へ及んでくることが見込まれており、具体的には、本市の高等学校入学年齢である15歳人口が、令和8年度は約11,200人であるのに対し、令和12年度頃までは1万人台で推移するものの、以降は加速的に生徒数の減少が進み、令和17年度は約8,700人、令和22年度は約7,300人と、令和8年度から令和22年度までの15年間で約3,900人（約35%）の減少となるが見込まれています。

³ 広島市立高等学校等への期待や満足度に係る現状を把握することにより、広島市ハイスクールビジョンの改定にあたっての基礎資料とするとともに、今後の高等学校等の運営の参考とするため、市立高等学校等第2学年の生徒及びその保護者、市立高等学校等の教員、市立中学校第2学年の生徒及びその保護者を対象に実施（15ページ参照）。

⁴ 令和6年12月「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）」により、現在、中央教育審議会において議論がなされている。

また、現在本市域内には、市立高等学校8校、県立高等学校15校、私立高等学校20校、国立高等学校1校の計44校が設置されており、国において令和8年度からいわゆる高等学校授業料の無償化⁵が開始されたことや、広島県による県立高等学校の再編計画⁶で一部本市域内の学校が対象となっていることによる影響が、これから本市域内の高等学校教育全体にどのように出てくるかも注視が必要です。

図 本市の15歳人口の推移（推計）



（令和8年3月現在の「広島市住民基本台帳による人口」を基に作成しており、令和8年度以降は推計値である。）

⁵ 国の「高等学校等就学支援金」により、令和8年度から世帯年収に関わらず高等学校等に通う日本人等の生徒を対象に授業料を支援する制度が開始。

⁶ 広島県教育委員会が令和8年5月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画（令和8年度から令和15年度まで）」において、本市域内では、安芸南高等学校、高陽高等学校、安西高等学校、高陽東高等学校が統合の対象となっている。

Ⅲ 目指す人間像と重点を置く教育

1 高等学校教育が目指す人間像

「国際平和文化都市」を都市像として掲げ、その実現に向けて、共助の精神を基盤とする「地域共生社会」の実現に取り組む本市は、持続可能な社会の構築に向けて、広島のかどもたちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく備えた「心身ともにたくましく思いやりのある人」として成長していくことを基本理念とし、(1) 情報を適切に活用しながら、本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的・主体的に考え行動する力 (2) 平和を希求する心 (3) 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力 (4) 豊かなコミュニケーション能力 (5) 自分たちのまちを愛する心 といった資質・能力を身に付けさせることが求められています⁷。

こうしたことを踏まえ、人間力を高める高等学校教育を通じて育成する人間像を、「志高く、世界に誇れるまち広島を創造する人材」とし、具体的な人間像のイメージとして、『『ヒロシマの心』⁸を自らのものとしグローバル社会で活躍できる人材」や「脱炭素社会の構築などの持続可能な社会づくりを担う人材」、「郷土を愛し本市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材」の育成を目指すこととします。

2 重点を置く教育

本市では、「志高く、世界に誇れるまち広島を創造する人材」の育成に向けて、義務教育段階の取組の成果を発展させ、次に示すように、「全ての生徒が共通して身に付けるべき資質・能力の育成」と「多様な生徒の学習ニーズに応じたきめ細かな対応」の観点から高等学校教育を進めます。

(1) 全ての生徒が共通して身に付けるべき資質・能力の育成

少子高齢化の更なる進行、人工知能関連技術をはじめとする情報通信技術の進展、経済活動等のグローバル化の進展、大規模な自然災害などをもたらす地球温暖化による気候変動、世界各地における紛争の発生・長期化による国際情勢の不安定化など、人類社会の持続可能性の確保への懸念も高まっています。

こうした状況においても、困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を育むとともに、ものごとの本質や根源を探究し、多角的・多面的に吟味し、見定めていく力（いわゆる「クリティカルシンキング」）や創造力、情報活用能力、ICTを理解し使いこなす科学的素養など、これからの時代に適応していくために求められる資質・能力を身に付けさせることにより、生徒一人一人が自己実現を図り、幸福で充実した人生を送れるようにします。

⁷ 「広島市教育大綱（令和8年3月改定）」から。

⁸ 被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という全人類にとっての普遍的なメッセージを原点にした、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を強く願う広島市民の切実な思い。

また、本市では、地域共生社会や誰もが平和の尊さを実感できる社会の実現に向けて取り組んでおり、「自分たちのまちは自分たちで創る」という考え方の下、社会を構成する一員としてその形成に主体的に参画していくことが求められています。

そのため、生徒自らが、知識・技能を活用し課題を発見して、その解決に向けて考え行動し、成果等を表現するために必要となる力を育むとともに、平和を希求する心、互いの違いや多様性を理解・尊重する態度、他者と共生・協働するためのリーダーシップやチームワーク、自分たちのまちを愛する心といった資質・能力を高めていくことにより、地域や社会の将来を担う人材として、社会的・職業的自立を目指していきます。

(2) 多様な生徒の学習ニーズに応じたきめ細かな対応

多様な生徒一人一人の可能性を伸ばすことを基本とし、そうした生徒の学びに応えられるよう、芸術・文化、スポーツ等において優れた才能や個性・特性を有する生徒に対する普通科コースの充実や、学び直しを希望する生徒に対する学習スタイルを選択できる教育の提供など、それぞれの学校や学科の特色に応じた魅力ある教育課程を編成・実施します。また、在籍している学校以外の市立学校の授業を受けることができるなどニーズに応じた柔軟な学びの機会の提供も進めます。その際、学校と地域社会とが連携・協働しながら、多様な生徒一人一人に応じた探究的な学びや、実社会での課題解決につながる実践的な学びを提供できるよう、教科等横断的な視点から、カリキュラム・マネジメントの充実を図ります。また、地域に開かれた教育活動等を通して、大学等や実社会と接続する学校として、将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるようなキャリア教育の充実を図ります。

なお、こうした教育を提供していくに当たっては、ＩＣＴの活用や、教育相談・進路相談などの支援体制の充実に努めます。

IV 市立学校としての特色化・魅力化の推進

1 各学校における教育の方向性

(1) 全日制課程

ア 普通科（基町高等学校、舟入高等学校、沼田高等学校、美鈴が丘高等学校）

普通科においては、将来、多様なキャリアを形成しながら国際社会で活躍する人材や、学んだ技術や知識を生かし、地域の産業・まちづくり・観光の振興、福祉や教育の充実等の分野において、地域社会に貢献する人材を育成します。そのため、各学校の社会的役割等や生徒のニーズを踏まえた特色ある学び、地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びなどの提供に取り組みます。

さらに、普通科に設置されるコースにおいては、本市のまちづくりの方向性と連動を図りながら、芸術に関するコースの中に音楽のあふれるまちづくりの担い手となる人材の育成を加えることについて検討するほか、国際交流の推進や地域スポーツ振興の担い手としてまちの活力向上に資する人材の育成に取り組みます。

(7) 基町高等学校

a 教育方針

学術や芸術文化の習得と探究を通じて、高い志と未来を切り拓く豊かな創造力を持ち、国際社会に貢献する人材を育成します。

b 重点目標

社会課題と自らの興味・関心、将来の生き方を結び付けて学びを深め、生徒一人一人の進路実現を支援することにより、生涯にわたって主体的・協働的に課題解決に取り組む態度を育むとともに、困難な状況に直面しても立ち直ることができるしなやかな心を持った人材を育成します。

創造表現コースにおいては、外部連携を通じて専門的な知見や高度な表現方法に触れる機会を一層充実させることにより、多様な表現活動に高度に対応できる専門性の向上を図ります。

(4) 舟入高等学校

a 教育方針

校訓「おのれに徹して人のために生きよう」を教育活動の指針として、生徒の「多様性を認め自他を尊重する豊かな人間性」「主体的・対話的で深い学びを通した高い知性と教養」「課題を発見し解決に取り組み新たな価値を育む創造性」を育成します。

b 重点目標

自己の興味関心から生じる問いを起点として社会に参画する機会を設けることにより、高い志や自己の在り方・生き方へと繋がる学びを実現するとともに、グローバルな視点から平和を希求する心を育み、恒久平和の実現に向けて貢献する意欲や態度を持った人材を育成します。

国際コミュニケーションコースにおいては、先進的な英語教育の成果を踏まえ教育課程を再検討することにより、国際的な素養を備えた知的なグローバルリーダーを育成します。

(ウ) 沼田高等学校

a 教育方針

「自主・自律・協働・挑戦」のもと、大きな夢と高い目標をもち、仲間とともに主体的に学び続け、果敢に挑戦する生徒を育成します。

b 重点目標

基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させ、学習内容を実社会や将来の生き方と関連付けて主体的かつ粘り強く課題解決に取り組む力を育成するとともに、地域社会の一員として地域への愛着と当事者意識を高めながら、多様な人々と協働して主体的に行動できる人材を育成します。

体育コースにおいては、スポーツ活動を通して他者と協働することにより、責任感や規範意識を身に付け、持続可能なスポーツの在り方について主体的に考え行動できる力を育成します。

(エ) 美鈴が丘高等学校

a 教育方針

校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成します。

b 重点目標

探究活動や授業を活性化させ、地域等と積極的に関わりながら課題解決に取り組むことにより、学びを自走し主体的に学習する力や主体的に自分の人生を切り拓く態度を育むとともに、地域から愛され、地域の小・中学生から目標とされる人材を育成します。

イ 専門学科（広島商業高等学校、広島工業高等学校）

専門学科においては、地域の産業界や大学等と一体となって、地域経済の変化に即応し、製造業・サービス業等の持続的な成長を支えるアドバンスト・エッセンシャルワーカーを育成するための教育に取り組みます。

(7) 広島商業高等学校

a 教育方針

人と人をつなぎ、多様な力を生み出し、社会に広げる行動的な人材を育成します。

b 重点目標

広島市商ピースデパート等の取組を継続的に発展させ、学校の特色化を一層推進することにより、専門的な知識・技能を高め、地域社会の発展のために主体的に行動できる態度を育むとともに、社会の変化や地域のニーズを的確にとらえ、柔軟に対応できるビジネス人材を育成します。

(4) 広島工業高等学校

a 教育方針

個人の尊厳を重んじ、豊かな人格の完成を目指すとともに、素養に富んだ工業技術者として、平和と文化の創造に寄与する人物を育成します。

b 重点目標

次代のニーズに応える学科改編に伴う特色ある教育内容の充実により、幅広い知識やICTをはじめとする高度な技術や主体的にものづくりにチャレンジする態度を育むとともに、工業の専門分野における技術と実務の進展を踏まえ、地域産業をリードしていくことのできる人材を育成します。

(2) 定時制課程及び通信制課程（広島みらい創生高等学校）

定時制課程及び通信制課程においては、課程の枠組みに捉われないフレキシブルな学びを通して、多様な生徒一人一人の実態や学習ニーズに応じた学び直しやソーシャルスキルトレーニングなどにより、主体的にキャリアを形成していける人材を育成するための教育に取り組みます。

ア 広島みらい創生高等学校

(7) 教育方針

生徒一人一人の個性を最大限に伸長させ、社会の発展に貢献できる人間性豊かな活力ある人材を育成します。

(4) 重点目標

生徒一人一人の興味や進路に応じて、入学時からの計画的な学習や個に応じた適切な支援を行うことにより、強みや得意分野を伸ばし、生徒自身が秘めた可能性を最大限に上げるとともに、社会参画の実感と自己効力感を育み、主体的に未来を切り開くことができる人材を育成します。

(3) 中高一貫教育校（広島中等教育学校）

中高一貫教育校においては、6年間の一貫した教育課程の中で、高度な英語教育や被爆の実相を継承し発信する平和教育等により、英語によるコミュニケーション能力や高い理想と品格を備えたグローバル・リーダーとして国内外で活躍する人材を育成するための教育に取り組みます。

ア 広島中等教育学校

(7) 教育方針

高い志を持ち、品格を備えたグローバル人材を育成します。

(4) 重点目標

地域や産業界と連携した6年間を見通した学習指導・進路指導や体系的な非認知能力を高める教育活動により、英語を活用する力や探究的な視点で課題を発見・解決する力を育むとともに、多様な人々と持続的に課題解決に取り組み、世界と関わりながら未来を切り開くことのできる人材を育成します。

2 今後更なる充実を目指す取組

産業構造や社会システムが激しく変化する中であっても、生徒が社会で求められる資質・能力をしっかり身に付け、将来の地域や社会とのつながりを意識しながら、興味・関心等に応じた学びを選択し、自らの可能性を最大限に伸ばすことができるよう、これまで市立学校として重点的に取り組んできた学力向上に係る取組、国際理解教育・英語教育の推進、平和教育プログラムの実施などの教育活動の継続・発展を図るとともに、生徒のキャリア形成や地域の産業界等のニーズも踏まえた地元大学や地元企業及び地域社会との連携強化を積極的に進めます。

また、多様な学科や課程、特色あるコースが設置されている市立学校群の強みを活かした、学校内や学校の枠を超えた柔軟な学びの機会の確保や既存の市立学校にはない新たな学びの提供方法について検討するとともに、各校の教育課程の特色化・魅力化がより実効性のあるものとなるよう、学びの基盤となるハード面の充実について検討します。

具体的には、

- 文理横断的な知識や見方・考え方を備えた人材の育成や地域産業を支えるアドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成が可能となるよう、教育課程の見直しを検討するとともに、キャリア教育

コーディネーターの活用を拡充して、各校や地元企業等のニーズを掘り起こし、各校の特色に応じた地元大学や地元企業及び地域社会との連携に取り組みます。

- 情報技術の活用・適切な取扱い・特性の理解といった情報活用能力に関する指導の充実や、生成 A I の効果的な活用方法についての研究を進めるとともに、海外からの留学生の受入れや A L T の効果的な活用による国際理解教育・英語教育の充実を図ります。
- 市立学校間での合同授業の実施や学校間連携による単位互換制度などの導入、生徒一人一人に応じたよりきめ細やかな指導の充実に向けた方策について検討します。
- 地元企業等と連携したものづくりを行うための環境づくりや探究学習をより深めることができる学習環境の充実など、施設・設備面を含めた特色化・魅力化について検討します。

市域内の生徒数が減少する中においても、こうした取組等を着実に進めるとともに、その内容等について、学校や教育委員会のみならず、高校生が広く効果的に市民に発信し、その魅力を周知することにより、市立学校全体の活力の維持に努めます。

併せて、日々の学校生活に支障をきたすことがないよう、外壁、屋上防水層、空調設備など施設の老朽化対策や時代に応じた機能強化に適切に対応するとともに、高等学校教育を支える教職員の資質・能力の向上、各校の組織及び指導体制の充実、教育研究組織の活性化にも、引き続き取り組みます。

V 将来的な学校体制のあり方の検討

各学校においてこのまま生徒数の減少が進めば、学校行事や部活動等の集団活動に制約が生じること、学級編制等の標準に変更がない限り教職員数も確実に減少し多様な科目選択が困難になることといった教育上の課題が顕在化してくることが見込まれます。このような課題に効率的・効果的に対応していくためには、本来、公立と私立、県立と市立といった学校設置者が、その枠を越えて生徒数が減少する中での将来的な学校体制のあり方について、あるべき姿を一体となって検討していく必要があります。こうした中、現状において国から今後の公立と私立の役割分担のあり方などは明示されていませんが、本市としては、本市域内において将来にわたって持続的で質の高い高等学校教育を着実に提供していくことができるよう、現時点で可能な方策として、市域内の県立高等学校の設置者である広島県や市域内の私立高等学校関係者に、この地域における公立と私立の役割分担や連携・協働のあり方についての議論を深めるための新たな協議の場の設置を働きかけることとします。

また、必要に応じて、市域外も含めた広域的な高等学校教育の提供体制についての議論も行い、その中で、広島広域都市圏の発展をけん引していく中枢都市として本市が果たすべき役割などについて考えます。

VI 本ビジョンの位置付け、計画期間、今後の進め方

本ビジョンは、「広島市基本構想」、「広島市基本計画」、「広島市教育大綱」及び「広島市教育振興基本計画」に基づくもので、市民のニーズと期待に応える「魅力ある高校づくり」を推進するための指針となるものです。

本ビジョンの計画期間については、「広島市基本計画」、「広島市教育大綱」などの計画期間が令和12年度（2030年度）で満了し改定を控えていることや、いわゆる高等学校授業料の無償化や広島県による県立高校再編計画の進捗状況を見定めながら、着実な取組を行う必要があることから、令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間とします。

今後、本ビジョン及び各市立高等学校等が策定する学校経営計画⁹に基づき「魅力ある高校づくり」を進めていきます。

⁹ 各学校の運営に関して、教育目標、短期・中期経営目標や具体的方策などについて、各学校が毎年度策定するもの。

《参考資料》

- 広島市立高等学校・中等教育学校の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- 令和 7 年度広島市立高等学校等に関するアンケートについて・・・・・・・・ 1 5
- 令和 8 年度広島市総合教育会議について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 3

広島市立高等学校・中等教育学校の変遷

時期	年度	基町 高等学校 (全日制)	舟入 高等学校 (全日制)	広島商業 高等学校 (全日制)	大手町商業 高等学校 (定時制)	広島工業高等学校		安佐北 高等学校 (全日制)	沼田 高等学校 (全日制)	美鈴が丘 高等学校 (全日制)	広島みらい 創生高等学校 (定時制・通信制課程)	広島中等 教育学校 (全日制)
						(全日制)	(定時制)					
戦前	大正 8 年 (1919 年)				広島市 商業補習夜学校							
	大正 10 年 (1921 年)		広島市 高等女学校	広島市 商業学校	同年 広島市 商業補習学校 と改称							
	大正 13 年 (1924 年)				広島市 商業専修学校		広島市 工業専修学校					
	昭和 10 年 (1935 年)				広島市立商業 専修青年学校		広島県広島市立 工業専修 青年学校					
	昭和 12 年 (1937 年)				広島市 第二商業学校		広島市 工業学校					
	昭和 16 年 (1941 年)				広島市立 第二商業学校		広島市立 第二工業学校					
	昭和 17 年 (1942 年)	広島市立中学校	広島市立 高等女学校	広島市立 第一商業学校								
	昭和 18 年 (1943 年)		広島市立 第一高等女学校	広島市立 造船工業学校								
戦後	昭和 23 年 (1948 年)	広島市立 城北高等学校	広島二葉 高等学校	広島市 商業高等学校	広島市 商業高等学校		広島市 中央工業 高等学校					
	昭和 24 年 (1954 年)	広島県 広島基町 高等学校	広島県 広島舟入 高等学校	観音高等学校・基 町高等学校両校 の商業科に編入	広島県 広島基町 高等学校		広島県 広島千田 高等学校					
	昭和 29 年 (1954 年)				広島県 広島市 商業高等学校		広島県 広島市 工業高等学校					
	昭和 34 年 (1959 年)			広島県 広島市 商業高等学校	広島県 広島大手町商業 高等学校							
	昭和 39 年 (1964 年)					広島県 広島市 工業高等学校	広島県 広島市 工業高等学校					
	昭和 55 年 (1980 年)	広島市立 基町高等学校	広島市立 舟入高等学校	広島市立 広島商業 高等学校	広島市立 大手町商業 高等学校	広島市立広島 工業高等学校	広島市立広島 工業高等学校					
	昭和 59 年 (1984 年)							広島市立 安佐北高等学校				
	昭和 60 年 (1985 年)							〔広島市立 安佐北中学校 平成 15 年 4 月 ? 平成 28 年 3 月〕	広島市立 沼田高等学校			
	昭和 63 年 (1988 年)									広島市立 美鈴が丘 高等学校		
	平成 26 年 (2014 年)											広島中等 教育学校
	平成 30 年 (2018 年)										広島市立 広島みらい創生 高等学校	
	平成 31 年 (2019 年)							廃止				
	令和 2 年 (2020 年)				廃止		廃止					
	令和 7 年 (2025 年)											

令和7年度広島市立高等学校等に関するアンケートについて

1 目的

広島市立高等学校等への期待や満足度に係るアンケート調査を実施し、現状を把握することにより、広島市ハイスクールビジョンの改定にあたっての基礎資料とするとともに、今後の高等学校等の運営の参考とする。

2 対象者及び回答者数

(1) 市立高等学校等第2学年の生徒（各校1学級、各コース1学級）	327人
(2) (1)の保護者	150人
(3) 市立高等学校等の教員	218人
(4) 市立中学校第2学年の生徒（各区2校程度1学級）	625人
(5) (4)の保護者	234人
合計	1,554人

3 実施時期及び実施方法

令和7年12月、WEBアンケート

4 アンケート結果の概要

(1) 高等学校

- 全日制普通科の高校生及びその保護者からは、「学校行事」や「部活動」、「大学等進学に対応した指導」等について高い満足度が示されている。全日制専門学科の高校生及びその保護者からは、「特色ある専門的な授業」について非常に高い満足度が示されている。また、生徒からは「就職や資格取得に対応した指導」について非常に高い満足度が示されている。定時制・通信制の高校生及び保護者からは、「心の悩みなどを相談できる体制」について、他の学科に比べ高い満足度が示されている。
- 市立高等学校に対する高校生及びその保護者のニーズは、「大学受験に向けた取組の強化」や「多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入」がともに高い。また、グローバル化や情報化に対応した「語学教育」や「情報教育」についても一定の期待が寄せられている。教員についても、おおむねこれらのニーズに対応した結果が認められ、特に「教科指導についての指導力の育成」や「少人数指導の充実」が高かった。
- 高校生及びその保護者の満足度は全般に高いが、魅力的な高校にするためのニーズは多岐にわたる。「語学教育」や「国際理解教育」、「大学受験に向けた取組の強化」は共通して重視されているが、「理数系教育」や「情報教育」、「DX人材の育成」などは生徒と保護者で関心が異なっている。こうした多様なニーズを反映した学習の機会を提供していく必要があると考えられる。

(2) 中学校

- 中学生及びその保護者は、それぞれ高等学校と同様の傾向が認められた。ただし、「高校を選ぶときに重視した（する）こと」について、中学校では高等学校と比べて「学力が（生徒に）あっている」や「学校の雰囲気が良い」、「自宅から近い・通いやすい」ことを重視して高等学校を選ぶとする回答が多かった。この差は、アンケートの対象が、中学校は進路学習が深まる前の段階にある現在の中学2年生、高等学校は進路が決定した中学3年生当時の記憶によるものであることが要因の1つと考えられる。
- また、中学生及びその保護者は、「就職に向けた取組の強化」、「2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度」、「国際理解教育」、「語学教育」、「情報教育」等のニーズが高く、これらに重点を置いた指導に期待が寄せられている。

5 調査対象別結果

次頁以降に掲載

令和7年度広島市立高等学校等に関するアンケート結果（高校等の生徒）

総回答者数
327

基礎データ			
性別			
項目	割合		
男		49.8%	
女		47.7%	
その他		0.3%	
無回答		2.1%	
高校			
項目	割合	項目	割合
基町	9.8%	沼田	6.7%
基町〔創造表現コース〕	3.1%	沼田〔体育コース〕	8.9%
舟入	11.9%	美鈴が丘	11.3%
舟入〔国際コミュニケーションコース〕	5.2%	中等教育	8.3%
広島商業	10.1%	みらい創生〔平日登校コース〕	5.2%
広島工業	7.6%	みらい創生〔通信教育コース〕	11.9%

1 高校を選ぶときに重視したこと（複数回答）	
項目	割合
1 将来やりたいことや就きたい仕事と関連している	20.2%
2 学科やコースの授業や取組に興味がある	30.3%
3 学力が（生徒に）あっている	42.2%
4 大学等への進学に有利である	17.1%
5 就職に有利である	9.8%
6 中高一貫教育校である	7.0%
7 進路指導や生徒指導が充実している	6.4%
8 企業や大学や地域等と連携した探究学習が充実している	1.2%
9 学校行事や部活動の内容が充実している	14.1%
10 学校の雰囲気が良い	25.1%
11 施設や設備が充実している	11.3%
12 自宅から近い・通いやすい	26.6%
13 制服が気に入っている	7.0%
14 親や親せき、友人からのすすめ	13.8%
15 中学校の先生からのすすめ	6.1%
16 塾や家庭教師の先生、スポーツの指導者等からのすすめ	6.7%
17 その他	6.4%

2 現在の満足度	
項目	割合
1 非常に満足している	30.6%
2 概ね満足している	54.4%
3 少し不満がある	11.9%
4 不満が多い	3.1%

3 高校卒業後の進路希望	
項目	割合
1 就職	16.2%
2 短大まで	0.5%
3 大学（大学校）まで	54.1%
4 大学院まで	9.8%
5 専門学校・専修学校まで	8.3%
6 まだ決めていない	11.0%
7 その他	0.3%

4－1 高校に満足していること、不満なこと（高校等の生徒327名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	26.6%	3.7%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	10.7%	11.3%
3 「1、2以外」の授業	9.8%	4.6%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	3.4%	3.7%
5 大学等進学に対応した指導	22.3%	7.0%
6 就職や資格取得に対応した指導	10.7%	5.5%
7 心の悩みなどを相談できる体制	4.6%	3.7%
8 授業時間外での補充指導	8.0%	5.8%
9 部活動	33.3%	7.3%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	41.0%	15.3%
11 規範意識を育む生徒指導体制	2.1%	12.8%
12 特にない	12.8%	46.5%
13 その他	5.2%	12.8%

4－2 高校に満足していること、不満なこと（普通科の生徒213名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	15.5%	3.8%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	9.9%	15.0%
3 「1、2以外」の授業	10.3%	6.6%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	1.9%	4.2%
5 大学等進学に対応した指導	28.6%	7.5%
6 就職や資格取得に対応した指導	0.5%	6.6%
7 心の悩みなどを相談できる体制	3.3%	3.8%
8 授業時間外での補充指導	9.4%	6.1%
9 部活動	38.5%	8.0%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	57.7%	12.2%
11 規範意識を育む生徒指導体制	2.8%	11.7%
12 特にない	6.1%	40.8%
13 その他	4.7%	16.4%

4－3 高校に満足していること、不満なこと（専門学科の生徒58名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	70.7%	5.2%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	5.2%	6.9%
3 「1、2以外」の授業	3.4%	1.7%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	12.1%	5.2%
5 大学等進学に対応した指導	3.4%	3.4%
6 就職や資格取得に対応した指導	51.7%	3.4%
7 心の悩みなどを相談できる体制	1.7%	6.9%
8 授業時間外での補充指導	8.6%	6.9%
9 部活動	25.9%	8.6%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	13.8%	20.7%
11 規範意識を育む生徒指導体制	0.0%	24.1%
12 特にない	13.8%	46.6%
13 その他	0.0%	5.2%

4－4 高校に満足していること、不満なこと（総合学科の生徒56名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	23.2%	1.8%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	19.6%	1.8%
3 「1、2以外」の授業	14.3%	0.0%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	0.0%	0.0%
5 大学等進学に対応した指導	1.8%	7.1%
6 就職や資格取得に対応した指導	5.4%	3.6%
7 心の悩みなどを相談できる体制	12.5%	0.0%
8 授業時間外での補充指導	1.8%	1.8%
9 部活動	3.6%	3.6%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	3.6%	21.4%
11 規範意識を育む生徒指導体制	0.0%	5.4%
12 特にない	37.5%	67.9%
13 その他	5.4%	1.8%

5 広島市立高校に期待されている役割として重要なこと（複数回答）

項目	割合
1 困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を育成すること	38.2%
2 物事の本質や根源を探究し、多角的・多面的に吟味し、見定めていく力を育成すること	20.8%
3 創造力を育成すること	20.8%
4 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を育成すること	11.9%
5 知識・技能を活用し課題を発見し、その解決に向けて考え行動し、成果等を表現するために必要な力を育成すること	19.0%
6 互いの違いや多様性を理解・尊重する態度を育成すること	21.7%
7 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと	9.5%
8 郷土を愛し、広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること	6.7%
9 他者と共生・協働するためのリーダーシップやチームワークといった資質・能力を育成すること	18.7%
10 芸術・文化、スポーツ等において優れた才能や個性・特性を高めること	11.9%
11 学び直しに対応するなど多様な学習スタイルから選択できる教育を提供すること	10.7%
12 よくわからない	20.5%
13 その他	0.3%

6 魅力ある高校にするための方策

① 重点を置く教育内容（複数回答）

項目	割合
1 国際理解教育	18.0%
2 語学教育	27.2%
3 理数系教育	19.3%
4 社会・人文学教育	7.0%
5 芸術教育 ※【①－2】へ	5.8%
6 体育・スポーツ教育	15.6%
7 情報教育	9.5%
8 工業教育 ※【①－3】へ	5.2%
9 商業教育 ※【①－4】へ	7.3%
10 よくわからない	23.9%
11 その他	1.2%

①－2 特に重点を置く分野

項目	割合
1 音楽	24.1%
2 美術（工芸やデザインを含む）	62.1%
3 書道	13.8%
4 その他	0.0%

①－3 特に重点を置く分野

項目	割合
1 工業：先端情報技術（AI、情報デザインなど）	20.0%
2 工業：ものづくり（ロボット、建築、電気回路など）	80.0%
3 その他	0.0%

①－4 特に重点を置く分野

項目	割合
1 商業：新しいビジネスの創造（起業家教育、メタバース市場構築など）	17.9%
2 商業：ビジネスの基盤となる学び（AI、マーケティング、マネジメント、会計分野、ビジネス情報）	75.0%
3 その他	7.1%

② 高校の充実すべき取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 大学受験に向けた取組の強化	45.0%
2 就職に向けた取組の強化	19.6%
3 ものづくりの技術や最先端の技術の習得に向けた取組の強化	7.6%
4 ビジネスや起業家精神の育成の取組の強化	5.8%
5 DX人材（デジタル技術を活用して課題解決を推進できる人材）の育成の強化	6.1%
6 普通科の特色化・魅力化（コースの設置や美鈴が丘高校のグローバル探究科など）	4.0%
7 ICT活用の充実	14.1%
8 探究活動の推進	4.0%
9 部活動の推進	19.6%
10 学習支援（個別指導、学び直しなど）の充実	17.1%
11 生活指導（規範意識、いじめ防止、SNS活用など）、教育相談体制の充実	12.8%
12 高校入試の改善（自己表現、調査書の簡素化、特色枠と一般枠など）	6.4%
13 学校行事の充実	29.4%
14 よくわからない	15.3%
15 その他	2.8%

③ 新たに推進すべき高校の取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 他の市立高校と併願が可能な入試制度の導入	19.9%
2 多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入	25.1%
3 新たな中高一貫教育校の設置	3.4%
4 少人数指導の充実	15.0%
5 新たなコースや学科の設置（音楽、理数、情報など）※【③－２】へ	8.6%
6 在籍している高校以外の市立高校の授業を受けることができる単位認定制度	8.9%
7 既存の高校を再編し、新たな高校を設置	1.8%
8 チーム（複数）担任制	4.6%
9 地域移行や複数の市立高校による合同活動などの部活動改革	4.0%
10 2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度	15.0%
11 広島市立大学との連携	13.5%
12 よくわからない	35.5%
13 その他	1.5%

③－２ コースや学科

項目	割合
1 音楽	33.3%
2 理数	18.5%
3 情報	13.0%
4 教育・保育	24.1%
5 その他	11.1%

④ 教職員（複数回答）

項目	割合
1 教科指導についての指導力の育成	48.9%
2 生徒指導についての指導力の育成	14.7%
3 進路指導についての指導力の育成	38.2%
4 専門知識や指導力を持った部活動顧問の育成・配置	22.0%
5 よくわからない	21.4%
6 その他	1.8%

〔表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。〕

令和7年度広島市立高等学校等に関するアンケート結果（高校等の生徒の保護者）

総回答者数
150

基礎データ

性別

項目	割合
男	10.0%
女	88.7%
その他	0.0%
無回答	1.3%

高校

項目	割合	項目	割合
基町	11.3%	沼田	4.7%
基町〔創造表現コース〕	7.3%	沼田〔体育コース〕	7.3%
舟入	8.0%	美鈴が丘	6.0%
舟入〔国際コミュニケーションコース〕	8.7%	中等教育	9.3%
広島商業	15.3%	みらい創生〔平日登校コース〕	2.7%
広島工業	15.3%	みらい創生〔通信教育コース〕	4.0%

1 高校を選ぶときに重視したこと（複数回答）

項目	割合
1 将来やりたいことや就きたい仕事と関連している	29.3%
2 学科やコースの授業や取組に興味がある	42.0%
3 学力が（生徒に）あっている	39.3%
4 大学等への進学に有利である	11.3%
5 就職に有利である	14.0%
6 中高一貫教育校である	9.3%
7 進路指導や生徒指導が充実している	7.3%
8 企業や大学や地域等と連携した探究学習が充実している	2.0%
9 学校行事や部活動の内容が充実している	12.7%
10 学校の雰囲気が良い	17.3%
11 施設や設備が充実している	6.0%
12 自宅から近い・通いやすい	26.0%
13 制服が気に入っている	2.0%
14 親や親せき、友人からのすすめ	1.3%
15 中学校の先生からのすすめ	4.7%
16 塾や家庭教師の先生、スポーツの指導者等からのすすめ	5.3%
17 その他	8.0%

2 現在の満足度

項目	割合
1 非常に満足している	31.3%
2 概ね満足している	62.0%
3 少し不満がある	4.7%
4 不満が多い	2.0%

3 高校卒業後の進路希望

項目	割合
1 就職	16.0%
2 短大まで	0.0%
3 大学（大学校）まで	54.7%
4 大学院まで	8.0%
5 専門学校・専修学校まで	5.3%
6 まだ決めていない	10.0%
7 その他	6.0%

4-1 高校に満足していること、不満なこと（高校等の生徒の保護者150名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	44.0%	0.7%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	12.0%	2.0%
3 「1、2以外」の授業	8.0%	0.1%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	8.0%	2.0%
5 大学等進学に対応した指導	26.7%	10.0%
6 就職や資格取得に対応した指導	18.7%	4.0%
7 心の悩みなどを相談できる体制	3.3%	6.7%
8 授業時間外での補充指導	4.7%	6.7%
9 部活動	32.0%	4.0%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	24.0%	5.3%
11 規範意識を育む生徒指導体制	2.0%	4.0%
12 特にない	10.0%	58.0%
13 その他	8.0%	13.3%

4-2 高校に満足していること、不満なこと（普通科の生徒の保護者94名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	24.5%	1.1%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	14.9%	2.1%
3 「1、2以外」の授業	10.6%	1.1%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	4.3%	3.2%
5 大学等進学に対応した指導	41.5%	11.7%
6 就職や資格取得に対応した指導	0.0%	2.1%
7 心の悩みなどを相談できる体制	3.2%	4.3%
8 授業時間外での補充指導	6.4%	6.4%
9 部活動	39.4%	3.2%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	35.1%	6.4%
11 規範意識を育む生徒指導体制	2.1%	0.0%
12 特にない	9.6%	55.3%
13 その他	7.4%	13.8%

4-3 高校に満足していること、不満なこと（専門学科の生徒の保護者46名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	84.8%	0.0%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	6.5%	2.2%
3 「1、2以外」の授業	0.0%	0.0%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	17.4%	0.0%
5 大学等進学に対応した指導	2.2%	8.7%
6 就職や資格取得に対応した指導	19.6%	8.7%
7 心の悩みなどを相談できる体制	0.0%	13.0%
8 授業時間外での補充指導	2.2%	6.5%
9 部活動	23.9%	6.5%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	6.5%	2.2%
11 規範意識を育む生徒指導体制	2.2%	13.0%
12 特にない	6.5%	56.5%
13 その他	4.3%	17.4%

4-4 高校に満足していること、不満なこと（総合学科の生徒の保護者10名 複数回答）

項目	割合（満足）	割合（不満）
1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業	40.0%	0.0%
2 総合的な探究の時間（課題研究、産業社会と人間を含む）を中心とした探究学習	10.0%	0.0%
3 「1、2以外」の授業	10.0%	0.0%
4 校外でのフィールドワーク（実地調査）やインターンシップ、販売実習等の特色ある取組	0.0%	0.0%
5 大学等進学に対応した指導	0.0%	0.0%
6 就職や資格取得に対応した指導	10.0%	0.0%
7 心の悩みなどを相談できる体制	20.0%	0.0%
8 授業時間外での補充指導	0.0%	10.0%
9 部活動	0.0%	0.0%
10 文化祭や体育祭等の学校行事	0.0%	0.0%
11 規範意識を育む生徒指導体制	0.0%	0.0%
12 特にない	30.0%	90.0%
13 その他	30.0%	0.0%

5 広島市立高校に期待されている役割として重要なこと（複数回答）

項目	割合
1 困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を育成すること	48.0%
2 物事の本質や根源を探究し、多角的・多面的に吟味し、見定めていく力を育成すること	34.7%
3 創造力を育成すること	20.0%
4 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を育成すること	16.0%
5 知識・技能を活用し課題を発見し、その解決に向けて考え行動し、成果等を表現するために必要な力を育成すること	29.3%
6 互いの違いや多様性を理解・尊重する態度を育成すること	23.3%
7 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと	8.7%
8 郷土を愛し、広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること	7.3%
9 他者と共生・協働するためのリーダーシップやチームワークといった資質・能力を育成すること	23.3%
10 芸術・文化、スポーツ等において優れた才能や個性・特性を高めること	8.7%
11 学び直しに対応するなど多様な学習スタイルから選択できる教育を提供すること	12.7%
12 よくわからない	6.7%
13 その他	2.0%

6 魅力ある高校にするための方策

① 重点を置く教育内容（複数回答）

項目	割合
1 国際理解教育	27.3%
2 語学教育	34.0%
3 理数系教育	14.0%
4 社会・人文学教育	8.0%
5 芸術教育 ※【①－2】へ	6.0%
6 体育・スポーツ教育	9.3%
7 情報教育	20.0%
8 工業教育 ※【①－3】へ	12.7%
9 商業教育 ※【①－4】へ	10.0%
10 よくわからない	14.0%
11 その他	5.3%

①－2 特に重点を置く分野

項目	割合
1 音楽	23.1%
2 美術（工芸やデザインを含む）	76.9%
3 書道	0.0%
4 その他	0.0%

①－3 特に重点を置く分野

項目	割合
1 工業：先端情報技術（AI、情報デザインなど）	21.1%
2 工業：ものづくり（ロボット、建築、電気回路など）	78.9%
3 その他	0.0%

①－4 特に重点を置く分野

項目	割合
1 商業：新しいビジネスの創造（起業家教育、メタバース市場構築など）	23.5%
2 商業：ビジネスの基盤となる学び（AI、マーケティング、マネジメント、会計分野、ビジネス情報）	76.5%
3 その他	0.0%

② 高校の充実すべき取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 大学受験に向けた取組の強化	51.3%
2 就職に向けた取組の強化	18.0%
3 ものづくりの技術や最先端の技術の習得に向けた取組の強化	15.3%
4 ビジネスや起業家精神の育成の取組の強化	15.3%
5 DX人材（デジタル技術を活用して課題解決を推進できる人材）の育成の強化	14.7%
6 普通科の特色化・魅力化（コースの設置や美鈴が丘高校のグローバル探究科など）	6.0%
7 ICT活用の充実	14.0%
8 探究活動の推進	12.7%
9 部活動の推進	12.7%
10 学習支援（個別指導、学び直しなど）の充実	28.7%
11 生活指導（規範意識、いじめ防止、SNS活用など）、教育相談体制の充実	12.7%
12 高校入試の改善（自己表現、調査書の簡素化、特色枠と一般枠など）	6.7%
13 学校行事の充実	16.0%
14 よくわからない	8.0%
15 その他	2.7%

③ 新たに推進すべき高校の取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 他の市立高校と併願が可能な入試制度の導入	36.0%
2 多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入	26.0%
3 新たな中高一貫教育校の設置	6.0%
4 少人数指導の充実	20.0%
5 新たなコースや学科の設置（音楽、理数、情報など）※【③－2】へ	9.3%
6 在籍している高校以外の市立高校の授業を受けることができる単位認定制度	12.7%
7 既存の高校を再編し、新たな高校を設置	0.7%
8 チーム（複数）担任制	12.7%
9 地域移行や複数の市立高校による合同活動などの部活動改革	3.3%
10 2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度	24.7%
11 広島市立大学との連携	18.7%
12 よくわからない	19.3%
13 その他	2.0%

③－2 コースや学科

項目	割合
1 音楽	15.8%
2 理数	15.8%
3 情報	31.6%
4 教育・保育	21.1%
5 その他	15.8%

④ 教職員（複数回答）

項目	割合
1 教科指導についての指導力の育成	57.3%
2 生徒指導についての指導力の育成	20.7%
3 進路指導についての指導力の育成	56.7%
4 専門知識や指導力を持った部活動顧問の育成・配置	20.0%
5 よくわからない	6.7%
6 その他	6.0%

〔表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。〕

令和7年度広島市立高等学校等に関するアンケート結果（高校等の教員）

総回答者数
218

基礎データ			
性別			
項目	割合		
男		62.8%	
女		33.5%	
その他		0.5%	
無回答		3.2%	
高校			
項目	割合	項目	割合
基町	14.7%	沼田	15.6%
基町〔創造表現コース〕	0.9%	沼田〔体育コース〕	2.3%
舟入	8.3%	美鈴が丘	11.5%
舟入〔国際コミュニケーションコース〕	0.0%	中等教育	12.4%
広島商業	14.2%	みらい創生〔平日登校コース〕	6.9%
広島工業	10.1%	みらい創生〔通信教育コース〕	3.2%

1 広島市立高校に期待されている役割として重要なこと（複数回答）

項目	割合
1 困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を育成すること	43.6%
2 物事の本質や根源を探究し、多角的・多面的に吟味し、見定めていく力を育成すること	35.8%
3 創造力を育成すること	7.8%
4 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を育成すること	9.2%
5 知識・技能を活用し課題を発見し、その解決に向けて考え行動し、成果等を表現するために必要な力を育成すること	39.0%
6 互いの違いや多様性を理解・尊重する態度を育成すること	31.7%
7 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと	26.6%
8 郷土を愛し、広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること	29.8%
9 他者と共生・協働するためのリーダーシップやチームワークといった資質・能力を育成すること	29.8%
10 芸術・文化、スポーツ等において優れた才能や個性・特性を高めること	12.4%
11 学び直しに対応するなど多様な学習スタイルから選択できる教育を提供すること	11.9%
12 よくわからない	1.8%
13 その他	6.9%

2 魅力ある高校にするための方策

① 重点を置く教育内容（複数回答）

項目	割合
1 国際理解教育	28.9%
2 語学教育	24.3%
3 理数系教育	24.3%
4 社会・人文学教育	18.8%
5 芸術教育 ※【①－2】へ	8.3%
6 体育・スポーツ教育	11.9%
7 情報教育	19.3%
8 工業教育 ※【①－3】へ	9.2%
9 商業教育 ※【①－4】へ	13.8%
10 よくわからない	8.3%
11 その他	7.3%

①－2 特に重点を置く分野

項目	割合
1 音楽	36.8%
2 美術（工芸やデザインを含む）	42.1%
3 書道	15.8%
4 その他	5.3%

①－3 特に重点を置く分野

項目	割合
1 工業：先端情報技術（AI、情報デザインなど）	15.0%
2 工業：ものづくり（ロボット、建築、電気回路など）	65.0%
3 その他	20.0%

①－4 特に重点を置く分野

項目	割合
1 商業：新しいビジネスの創造（起業家教育、メタバース市場構築など）	13.3%
2 商業：ビジネスの基盤となる学び（AI、マーケティング、マネジメント、会計分野、ビジネス情報）	80.0%
3 その他	6.7%

② 高校の充実すべき取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 大学受験に向けた取組の強化	38.1%
2 就職に向けた取組の強化	14.7%
3 ものづくりの技術や最先端の技術の習得に向けた取組の強化	9.6%
4 ビジネスや起業家精神の育成の取組の強化	8.7%
5 DX人材（デジタル技術を活用して課題解決を推進できる人材）の育成の強化	17.0%
6 普通科の特色化・魅力化（コースの設置や美鈴が丘高校のグローバル探究科など）	15.1%
7 ICT活用の充実	17.4%
8 探究活動の推進	19.3%
9 部活動の推進	17.0%
10 学習支援（個別指導、学び直しなど）の充実	29.8%
11 生活指導（規範意識、いじめ防止、SNS活用など）、教育相談体制の充実	24.8%
12 高校入試の改善（自己表現、調査書の簡素化、特色枠と一般枠など）	29.8%
13 学校行事の充実	17.0%
14 よくわからない	2.3%
15 その他	5.5%

③ 新たに推進すべき高校の取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 他の市立高校と併願が可能な入試制度の導入	11.9%
2 多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入	28.0%
3 新たな中高一貫教育校の設置	5.5%
4 少人数指導の充実	56.0%
5 新たなコースや学科の設置（音楽、理数、情報など）※【③－２】へ	4.6%
6 在籍している高校以外の市立高校の授業を受けることができる単位認定制度	8.7%
7 既存の高校を再編し、新たな高校を設置	14.2%
8 チーム（複数）担任制	18.3%
9 地域移行や複数の市立高校による合同活動などの部活動改革	27.5%
10 2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度	11.0%
11 広島市立大学との連携	20.2%
12 よくわからない	3.7%
13 その他	6.9%

③－２ コースや学科

項目	割合
1 音楽	22.2%
2 理数	16.7%
3 情報	33.3%
4 教育・保育	11.1%
5 その他	16.7%

④ 教職員（複数回答）

項目	割合
1 教科指導についての指導力の育成	83.0%
2 生徒指導についての指導力の育成	43.6%
3 進路指導についての指導力の育成	31.2%
4 専門知識や指導力を持った部活動顧問の育成・配置	15.1%
5 よくわからない	0.9%
6 その他	6.4%

〔表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。〕

令和7年度広島市立高等学校等に関するアンケート結果（中学校：中学生）

総回答者数
625

基礎データ

性別

項目	割合
男	49.3%
女	47.8%
その他	0.3%
無回答	2.6%

1 中学校卒業後の希望する進路

項目	割合
1 高校（普通科、グローバル探究科）	61.4%
2 高校（商業科）	2.6%
3 高校（工業科）	3.5%
4 高校（総合学科（単位制））	2.7%
5 高校（その他の学科）	3.8%
6 定時制・通信制の高校	1.1%
7 高等専修学校・専修学校（専門学校）高等課程	1.6%
8 就職	0.6%
9 よくわからない	21.8%
10 その他	0.8%

2 将来的な進路希望

項目	割合
1 高校まで	14.6%
2 短大まで	1.9%
3 大学（大学校）まで	55.5%
4 大学院まで	2.6%
5 専門学校・専修学校まで	10.4%
6 よくわからない	14.7%
7 その他	0.3%

3 高校を選ぶときに重視すること（複数回答）

項目	割合
1 将来やりたいことや就きたい仕事と関連している	42.6%
2 学科やコースの授業や取組に興味がある	16.8%
3 学力が（生徒に）あっている	43.2%
4 大学等への進学に有利である	13.4%
5 就職に有利である	17.6%
6 進路指導や生徒指導が充実している	4.3%
7 企業や大学や地域等と連携した探究学習が充実している	1.8%
8 学校行事や部活動の内容が充実している	24.6%
9 学校ホームページやInstagram等の広報が充実している	3.2%
10 学校の雰囲気が良い	39.4%
11 施設や設備が充実している	18.6%
12 自宅から近い・通いやすい	37.6%
13 制服が気に入っている	13.9%
14 親や親せき、友人からのすすめ	6.4%
15 中学校の先生からのすすめ	2.4%
16 塾や家庭教師の先生、スポーツの指導者等からのすすめ	5.3%
17 その他	2.1%

4 広島市立高校に期待されている役割として重要なこと（複数回答）

項目	割合
1 困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けること	49.0%
2 物事の本質や根源を探究し、多角的・多面的に吟味し、見定めていく力を身に付けること	17.1%
3 創造力を身につけること	21.0%
4 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を身につけること	13.1%
5 知識・技能を活用し課題を発見し、その解決に向けて考え行動し、成果等を表現するために必要な力を身に付けること	23.0%
6 互いの違いや多様性を理解・尊重する態度を身に付けること	32.8%
7 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと	9.0%
8 郷土を愛し、広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること	7.0%
9 他者と共生・協働するためのリーダーシップやチームワークといった資質・能力を高めること	15.7%
10 芸術・文化、スポーツ等において優れた才能や個性・特性を高めること	26.2%
11 学び直しに対応するなど多様な学習スタイルから選択できる教育を提供すること	10.2%
12 よくわからない	17.9%
13 その他	0.6%

5 魅力ある高校にするための方策

① 重点を置く教育内容（複数回答）

項目	割合
1 国際理解教育	23.8%
2 語学教育	20.5%
3 理数系教育	21.1%
4 社会・人文学教育	13.4%
5 芸術教育 ※【①－2】へ	9.3%
6 体育・スポーツ教育	28.3%
7 情報教育	14.7%
8 工業教育 ※【①－3】へ	4.8%
9 商業教育 ※【①－4】へ	3.0%
10 よくわからない	25.4%
11 その他	0.8%

①－2 特に重点を置く分野

項目	割合
1 音楽	44.6%
2 美術（工芸やデザインを含む）	48.6%
3 書道	6.8%
4 その他	0.0%

①－3 特に重点を置く分野

項目	割合
1 工業：先端情報技術（AI、情報デザインなど）	45.5%
2 工業：ものづくり（ロボット、建築、電気回路など）	50.0%
3 その他	4.5%

①－4 特に重点を置く分野

項目	割合
1 商業：新しいビジネスの創造（起業家教育、メタバース市場構築など）	53.1%
2 商業：ビジネスの基盤となる学び（AI、マーケティング、マネジメント、会計分野、ビジネス情報）	46.9%
3 その他	0.0%

② 高校の充実すべき取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 大学受験に向けた取組の強化	42.7%
2 就職に向けた取組の強化	34.7%
3 ものづくりの技術や最先端の技術の習得に向けた取組の強化	10.7%
4 ビジネスや起業家精神の育成の取組の強化	8.0%
5 DX人材（デジタル技術を活用して課題解決を推進できる人材）の育成の強化	5.1%
6 普通科の特色化・魅力化（コースの設置や美鈴が丘高校のグローバル探究科など）	7.2%
7 ICT活用の充実	14.4%
8 探究活動の推進	3.4%
9 部活動の推進	25.4%
10 学習支援（個別指導、学び直しなど）の充実	15.4%
11 生活指導（規範意識、いじめ防止、SNS活用など）、教育相談体制の充実	23.4%
12 高校入試の改善（自己表現、調査書の簡素化、特色枠と一般枠など）	14.2%
13 学校行事の充実	34.1%
14 よくわからない	13.3%
15 その他	0.6%

③ 新たに推進すべき高校の取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 他の市立高校と併願が可能な入試制度の導入	26.6%
2 多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入	23.7%
3 新たな中高一貫教育校の設置	10.9%
4 少人数指導の充実	12.3%
5 新たなコースや学科の設置（音楽、理数、情報など）※【③－２】へ	16.8%
6 在籍している高校以外の市立高校の授業を受けることができる単位認定制度	7.7%
7 既存の高校を再編し、新たな高校を設置	6.6%
8 チーム（複数）担任制	8.3%
9 地域移行や複数の市立高校による合同活動などの部活動改革	8.8%
10 2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度	20.8%
11 広島市立大学との連携	13.6%
12 よくわからない	35.5%
13 その他	1.0%

③－２ コースや学科

項目	割合
1 音楽	23.5%
2 理数	24.2%
3 情報	16.8%
4 教育・保育	30.9%
5 その他	4.0%

〔表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。〕

令和7年度広島市立高等学校等に関するアンケート結果（中学校：保護者）

総回答者数
234

基礎データ	
性別	
項目	割合
男	9.8%
女	86.8%
その他	0.4%
無回答	3.0%

1 中学校卒業後の希望する進路	
項目	割合
1 高校（普通科、グローバル探究科）	73.9%
2 高校（商業科）	4.3%
3 高校（工業科）	4.3%
4 高校（総合学科（単位制））	3.4%
5 高校（その他の学科）	3.0%
6 定時制・通信制の高校	2.1%
7 高等専修学校・専修学校（専門学校）高等課程	0.9%
8 就職	0.0%
9 よくわからない	5.6%
10 その他	2.7%

2 将来的な進路希望	
項目	割合
1 高校まで	8.5%
2 短大まで	0.4%
3 大学（大学校）まで	65.0%
4 大学院まで	1.3%
5 専門学校・専修学校まで	9.8%
6 よくわからない	8.5%
7 その他	6.4%

3 高校を選ぶときに重視すること（複数回答）	
項目	割合
1 将来やりたいことや就きたい仕事と関連している	45.3%
2 学科やコースの授業や取組に興味がある	33.3%
3 学力が（生徒に）あっている	60.7%
4 大学等への進学に有利である	17.1%
5 就職に有利である	9.4%
6 進路指導や生徒指導が充実している	16.2%
7 企業や大学や地域等と連携した探究学習が充実している	4.7%
8 学校行事や部活動の内容が充実している	17.9%
9 学校ホームページやInstagram等の広報が充実している	0.9%
10 学校の雰囲気が良い	41.9%
11 施設や設備が充実している	9.4%
12 自宅から近い・通いやすい	44.0%
13 制服が気に入っている	0.4%
14 親や親せき、友人からのすすめ	1.7%
15 中学校の先生からのすすめ	1.3%
16 塾や家庭教師の先生、スポーツの指導者等からのすすめ	3.0%
17 その他	1.7%

4 広島市立高校に期待されている役割として重要なこと（複数回答）

項目	割合
1 困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けること	54.7%
2 物事の本質や根源を探究し、多角的・多面的に吟味し、見定めていく力を身に付けること	32.1%
3 創造力を身に付けること	14.5%
4 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を身に付けること	20.1%
5 知識・技能を活用し課題を発見し、その解決に向けて考え行動し、成果等を表現するために必要な力を身に付けること	43.6%
6 互いの違いや多様性を理解・尊重する態度を身に付けること	29.5%
7 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと	3.8%
8 郷土を愛し、広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること	5.1%
9 他者と共生・協働するためのリーダーシップやチームワークといった資質・能力を高めること	26.9%
10 芸術・文化、スポーツ等において優れた才能や個性・特性を高めること	14.1%
11 学び直しに対応するなど多様な学習スタイルから選択できる教育を提供すること	20.9%
12 よくわからない	5.1%
13 その他	0.0%

5 魅力ある高校にするための方策

① 重点を置く教育内容（複数回答）

項目	割合
1 国際理解教育	33.8%
2 語学教育	41.0%
3 理数系教育	10.7%
4 社会・人文学教育	16.2%
5 芸術教育 ※【①－2】へ	7.3%
6 体育・スポーツ教育	7.3%
7 情報教育	32.5%
8 工業教育 ※【①－3】へ	3.8%
9 商業教育 ※【①－4】へ	5.1%
10 よくわからない	20.1%
11 その他	2.6%

①－2 特に重点を置く分野

項目	割合
1 音楽	27.8%
2 美術（工芸やデザインを含む）	61.1%
3 書道	11.1%
4 その他	0.0%

①－3 特に重点を置く分野

項目	割合
1 工業：先端情報技術（AI、情報デザインなど）	18.2%
2 工業：ものづくり（ロボット、建築、電気回路など）	81.8%
3 その他	0.0%

①－4 特に重点を置く分野

項目	割合
1 商業：新しいビジネスの創造（起業家教育、メタバース市場構築など）	50.0%
2 商業：ビジネスの基盤となる学び（AI、マーケティング、マネジメント、会計分野、ビジネス情報）	50.0%
3 その他	0.0%

② 高校の充実すべき取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 大学受験に向けた取組の強化	45.7%
2 就職に向けた取組の強化	23.1%
3 ものづくりの技術や最先端の技術の習得に向けた取組の強化	14.1%
4 ビジネスや起業家精神の育成の取組の強化	16.2%
5 DX人材（デジタル技術を活用して課題解決を推進できる人材）の育成の強化	16.2%
6 普通科の特色化・魅力化（コースの設置や美鈴が丘高校のグローバル探究科など）	20.1%
7 ICT活用の充実	12.0%
8 探究活動の推進	10.3%
9 部活動の推進	9.0%
10 学習支援（個別指導、学び直しなど）の充実	30.8%
11 生活指導（規範意識、いじめ防止、SNS活用など）、教育相談体制の充実	18.4%
12 高校入試の改善（自己表現、調査書の簡素化、特色枠と一般枠など）	14.1%
13 学校行事の充実	13.2%
14 よくわからない	9.8%
15 その他	0.0%

③ 新たに推進すべき高校の取組や制度（複数回答）

項目	割合
1 他の市立高校と併願が可能な入試制度の導入	60.3%
2 多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入	43.6%
3 新たな中高一貫教育校の設置	6.8%
4 少人数指導の充実	22.2%
5 新たなコースや学科の設置（音楽、理数、情報など）※【③－２】へ	10.3%
6 在籍している高校以外の市立高校の授業を受けることができる単位認定制度	4.7%
7 既存の高校を再編し、新たな高校を設置	1.3%
8 チーム（複数）担任制	12.0%
9 地域移行や複数の市立高校による合同活動などの部活動改革	6.0%
10 2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度	35.0%
11 広島市立大学との連携	8.1%
12 よくわからない	10.3%
13 その他	0.0%

③－２ コースや学科

項目	割合
1 音楽	18.8%
2 理数	6.3%
3 情報	46.9%
4 教育・保育	21.9%
5 その他	6.3%

〔表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。〕

令和8年度広島市総合教育会議について

1 日時

令和8年7月31日(金)15時30分～16時45分

2 会場

教育委員室(AP エルテージ国泰寺ビル4階)

3 出席者

区 分	役職名	氏 名	備 考
市	市 長	松 井 一 實	
教育委員会	教 育 長	松 井 勝 憲	
	委 員 (教育長職務代行者)	西 敦 子	広島修道大学非常勤講師
	委 員	一 橋 信 之	広島経済大学副学長
	委 員	砂 橋 昌 義	特定非営利活動法人ひろしまレクリエーション協会理事長
	委 員	長 谷 川 栄 治	弁護士
	委 員	森 田 愛 子	広島大学大学院人間社会科学科教授

4 議題

市立高等学校のあり方について

5 主な意見

- ・ 通常の学級の中で一斉授業において少し学びづらさや居づらさを感じるという生徒が増えていくのではないかと懸念から、校内の居場所づくりも魅力の一つとなるのではないかと。
- ・ 特色ある学校にするためには、学習指導要領に沿って授業等を行うのでは足りないのではないかと。
- ・ 生成AIを利活用するという技能の技術だけでなく、情報リテラシーについてもしっかり取り組む必要があるのではないかと。
- ・ 大学・企業・地域との連携に係るコーディネーター役の人材が、学校現場、企業現場、社会教育の現場をうまく取り込んでいく上で重要となるのではないかと。
- ・ 海外の学生を迎えて交流を持つことで高校生視野も広がるのではないかと考え、海外からの留学生を積極的に受け入れることも検討してはどうか。
- ・ 留学の経験は本人の人生設計にも大きく関わるものと考え、長期留学や単位認定について留学制度を見直してはどうか。
- ・ ショート動画などにより生徒の声が分かる広報が有効ではないかと。広報に高校生が積極的に関わることで帰属意識にもつながるのではないかと。
- ・ 高校側が生徒を選ぶのではなく、生徒から選ばれる高校になるような学校づくりが必要であり、併せて入試制度についても改革をする必要があるのではないかと。